

計算書類に対する注記
(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準方法は、先入れ先出し法による原価法を採用している。
- (2) 消費税は税込処理を行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産の及特定資産の残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	21,000,000	-	-	21,000,000
合計	21,000,000	-	-	21,000,000

3. 特定資産

基金名	前期末残高	増加額	減少額	当期末残高
国際交流基金	6,390,000	-	-	6,390,000
物理探査研究開発基金	7,050,000	-	-	7,050,000
物理探査活性化基金	4,445,500	685,000	1,997,545	3,132,955
合計	17,885,500	685,000	1,997,545	16,572,955

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
敷金	660,000	-	660,000
合計	660,000	-	660,000

5. 補助金等の内訳

補助金等はなし